

**全国有力100社
アンケート調査**

「やや弱気」が59%で過半数を占める「弱気」も23%に

10月の鉄スクラップ相場動向

弊紙実施の100社アンケート「10月の相場動向」の結果がまとまった。全体で見ると、「やや弱気」が圧倒的に多く、59%を占めた。1カ月以上にわたって下落基調が続いていること、海外市況を含め先行きも不透明な現状が影響したと見られる。次に多かったのは「弱気」の23%。この二つの弱基調の回答が全体の82%に達した。「横ばい」は14%だった。一方「やや強気」は3%、「強気」は1%にとどまった。

◆業種別～いずれの業種も「やや弱気」が過半数超え。電炉・商社シッパーは「強気」「やや強気」の回答はゼロ。

電炉メーカーは「やや弱気」が69%でトップを占めた。次いで「弱気」が19%、「横ばい」が12%となった。「強気」と「やや強気」の回答はなく、ゼロだった。商社・シッパーは「やや弱気」が69%で最も多かった。次は「弱気」で23%、3番目は「横ばい」で8%だった。電炉と同様に、「強気」と「やや強気」はゼロだった。市中業者は、「やや弱気」が55%でトップとなった。次は「弱気」の24%、3番目は「横ばい」の15%だった。「やや強気」は4%、「強気」は2%と少数派になった。

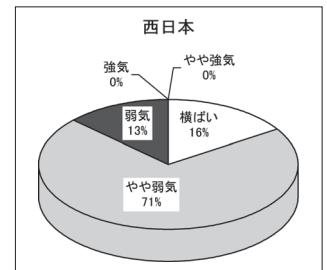
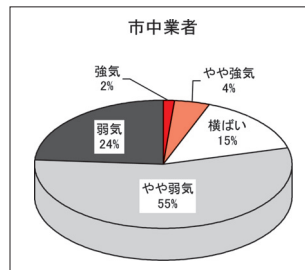
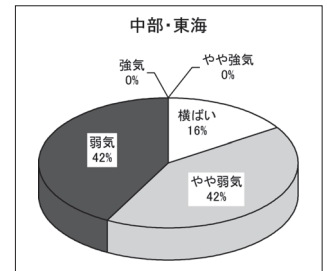
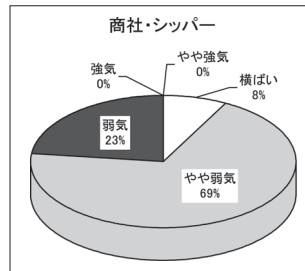
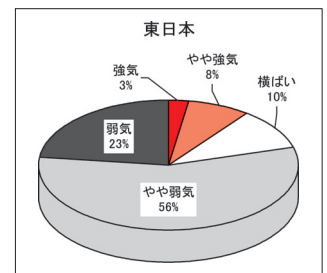
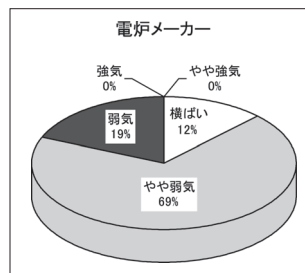
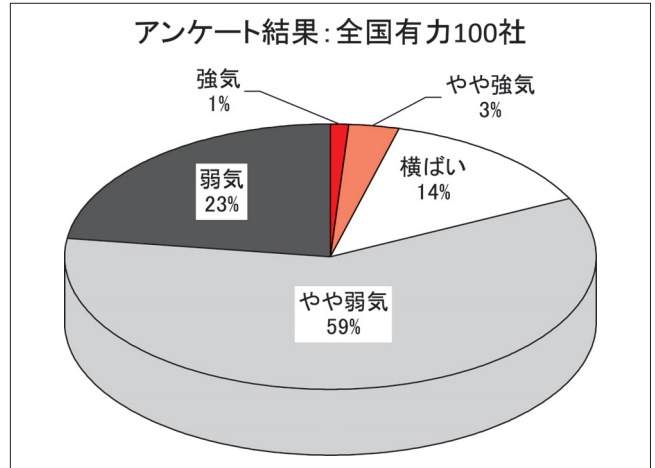
◆地域別～各地区とも「やや弱気」「弱気」に集中。中部以西では「強気」「やや強気」の回答はゼロに。

東日本は「やや弱気」が56%で最も多かった。次いで「弱気」が23%と、弱基調の回答が79%でほぼ8割方を占めた。「やや強気」は8%、「強気」は3%と、強基調の回答はわずか。「横ばい」は10%だった。中部・東海は「弱気」と「やや弱気」が42%で並んだ。次いで「横ばい」が16%と続いた。西日本は「やや弱気」だけで71%を占めた。次に多かったのは「横ばい」の16%。「弱気」は13%だった。中部・東海と西日本では、「やや強気」と「強気」の回答がゼロだった。

<個別コメント(一部)>

▼主な原料価格の下落、世界経済の減速、製品市況の低迷、円高要因と、弱気のマテリアルが多い。急落はなくて

も、市況は弱基調。▼ここ3年ほど、11月初めから市況は上昇している。年末年始に備える在庫補充など強要因も出て、市況は底を打ってくる予想。



Innovation for further growth

製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

<http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19
TEL(06)6393-8401代 FAX(06)6399-0313

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】

■回答方法:10月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:9月26日～10月5日 ■回答率:96.0%(東日本97.5%、中部・東海95.0%、西日本95.0%)